

かながわあんしん生活支援フォーラム in 川崎

～ 地域のささえあい で ハッピーエイジング ～

日時: **2月24日(金)** 14:00～16:40
(開場 13:30)

会場: **ラゾーナ川崎プラザソル ホール**
(JR川崎駅改札より、ホール入口まで徒歩5分)

定員: **先着 200名 (当日受付)**

※定員に達した場合、ご入場いただけません
ので、予めご了承ください。

入場無料

手話通訳・要約筆記あり

プロスキーヤー・冒険家

三浦 豪太 氏



○ プログラム ○

— 14時 開演 —

第1部【認知症について】

講師 **認知症サポーター養成講座**

鈴木雅子 氏・根本たつ子 氏

(川崎市認知症ネットワーク副代表・書記)

— 休憩 —

第2部【基調講演】

“地域のささえあい で ハッピーエイジング”

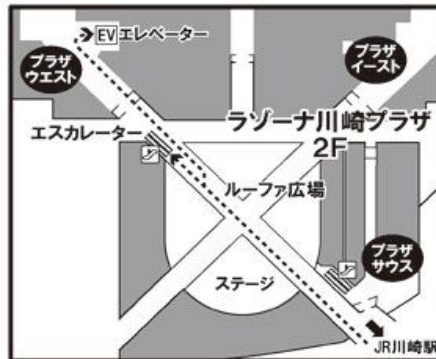
三浦 豪太 氏 (プロスキーヤー・冒険家)

第3部【座談会】

コーディネーター
遠藤 慶子 氏 (田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科 准教授)

対談者
三浦 豪太 氏 (プロスキーヤー・冒険家)

対談者
鈴木雅子 氏・根本たつ子 氏
(川崎市認知症ネットワーク副代表・書記)



会場: **ラゾーナ川崎プラザソル**

川崎市幸区堀川町72-1

ラゾーナ川崎プラザ5F

JR川崎駅改札より、

ホール入口まで徒歩5分

※会場へは、公共交通機関でお越しください



主催: 神奈川県 (平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業)

(平成23年度 神奈川県立 平塚ろう学校 地域活性化コミュニケーション推進事業)

共催: 川崎市

後援: 公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部
特定非営利活動法人 神奈川県介護支援専門員協会
ライオンズクラブ国際協会 330-B 地区
毎日新聞社横浜支局

協賛: エーザイ株式会社 / ファイザー株式会社



お問い合わせ:

平成23年度 神奈川県 認知症サポーター養成促進事業 運営事務局
(株)コモンズ21研究所 TEL 045(752)0211 FAX 045(752)0242

かながわあんしん生活支援フォーラム in 川崎 出演者プロフィール

●**基調講演講師：三浦 豪太 氏**（プロスキーヤー・冒険家）

昭和44年神奈川県生まれ。三浦雄一郎氏の次男として小学校時代から海外遠征に同行。アフリカ大陸最高峰キリマンジャロ（5,895m）を11歳で登頂。最年少記録を持つ。平成3年よりフリースタイルスキー、モーグル競技を始め、以来10年にわたり国際大会で活躍し、リレハンメル及び長野オリンピックに出場。日本モーグル界の牽引的存在となる。平成13年に米国ユタ大学スポーツ生理学部を卒業。平成15年、父・三浦雄一郎氏とともにエベレスト（8,848m）に遠征し、日本人初の親子同時登頂の記録を達成。

現在は順天堂大学大学院 医学研究科 博士課程に在学中。専攻は加齢制御医学（アンチエイジング）。また、子どもから高齢者までの幅広い年齢層や、アスリート向けのトレーニング及びアウトドアプログラムを国内外で数多く手がけている。

一般社団法人アンチエイジングリーダー養成機構専務理事、株式会社ミウラ・ドルフィンズ 低酸素室トレーニングシステム研究開発所 所長。

●**コーディネーター：遠藤 慶子 氏**（田園調布学園大学 人間福祉学部 社会福祉学科 准教授）

慶応義塾大学卒。昭和62年より、高津区で在宅医療・福祉現場に携わるようになる。平成5年より高津区在宅介護者の会の副代表となり現在に至る。介護現場で放置されがちだった口腔の問題をケアマネジメントの中に入れることを趣旨として、平成9年に「口腔介護とケアマネジメント研究会」を立ち上げて代表を務める。

介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員・認知症ケア専門士・アンチエイジング専門士等の資格を活かし、平成13年より在宅高齢福祉分野を専門とし、田園調布学園大学で介護福祉士・社会福祉士等の育成にあたっている。

現在、川崎市高齢者保健福祉計画策定委員。また現在、食育ガイドブック（内閣府）作成のためのワーキンググループに参画し、高齢者の食事に関する問題にも取り組んでいる。

●**対談者：鈴木 雅子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 副代表）

平成3年から義母の介護に関わり、平成15年に看取る。

平成6年に、認知症家族会「宮前すみれの会」に保健師のすすめで参加し、現在、同会代表を務める。

平成8年に、「宮前すみれの会」として「川崎市認知症ネットワーク」に賛同して参加し、現副代表。現在、同ネットワークの活動として、認知症の人も家族も、一人の人間として、社会人として共に暮らす社会を目指し、川崎市認知症コールセンター「サポート・ほっと」や若年性認知症グループ「どんどん」、男性介護者の集い、見守り隊等の多様なサポート活動や、劇団SOS、語り部隊、認知症キャラバン・メイトとしての講演等の啓発活動に取り組んでいる。

平成20年から川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員を務める。

●**対談者：根本 たつ子 氏**（川崎市認知症ネットワーク 書記）

川崎市認知症キャラバン・メイト連絡協議会 運営委員。川崎市介護相談員※。夫の両親（脳血管性認知症で5年、アルツハイマー型認知症で8年）の介護をしてきた経験から、中原区で認知症家族会「やよい会」の立ち上げより参加し、13年となる。そのほか、ミニデイサービス「ほほえみ」にも立ち上げ時より12年間関わっている。

※ **介護相談員**：神奈川県が養成し、市町村の委嘱を受け、介護サービス提供の場へ赴いて、利用者等からの相談に応じる者。各市町村が介護施設への派遣等事業を実施している。

